

## 「今後の新学習指導要領完全実施に向けて」

北海道高等学校教育研究会地歴・公民部会長 渋川 誠人  
(北海道札幌北陵高等学校長)

新型コロナウイルス感染症対策のため、長期にわたる臨時休業が続き、特に北海道内でも地域によって休業や再開時期が異なることや臨時休業中の対応も異なり、教育格差も顕著になってきています。現在学校が再開しましたが、様々な課題が山積しております。例えば最上級生の卒業後の進路に向けた対応。「総合型選抜」(A0入試)の延期、「学校推薦型選抜」(推薦入試)は予定通りの日程。今年度よりスタートする「大学入学共通テスト」は日程変更がないものの追試等で配慮がなされること。また、景気が一気に下降している中、就職も厳しいことが予想されます。何よりも早く最上級生の卒業後の進路に向けた対応が必要です。

そして、これからは社会全体が長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生活していかなければならない状況下であり、感染症対策と子どもたちの学びの保障の両立をしていかなければなりません。文部科学省は「学びの保障」総合対策パッケージの中で、①臨時休業中も学びを止めず②速やかに、できることから学校での学びを再開する③あらゆる手段を活用し、学びを取り戻す④柔軟な対応の備えにより、学校ならではの学びを最大限確保する。こうした基本的な考えを踏まえ、①効果的な学習保障のための学習指導の考え方の明確化や②国全体の学習保障に必要な人的・物的学習支援を実施する、としていますが、感染症対策を講じつつ、学校教育ならではの学び・協働的な学びを大事にしながら新学習指導要領が目指す学びを着実に実現させていくことが大切だと読み取れます。

また、自粛期間中私たちの「働き方」も大きく変容しました。オフィスワーカーは在宅勤務の道を探し、すでに町中の事務所を撤廃する動きがあります。飲食業界はテイクアウト事業を模索、各種習い事やジムもオンライン指導などの道を切り開き、民間塾も無料でオンライン授業を公開するなど、学びの種類も多様化しています。こうした中、私たちも対面授業や宿題を出すだけでなく、新たな学習スタイルを考え工夫する必要があります。

以前子どもたちを「ゆとり世代」と称したことがありました。将来子どもたちが「コロナ世代」と呼ばれる時が来るかもしれません。そのとき、「だから学力も身に付いていない」と見なされるか、「学びの質が高まった世代」と評されるか。モノがないとか、ネット環境を早急に整えることはもちろん必要ですが、揃ってからではなくとも学校にある資源をフルに活用して学びを提供していくこともこれからは必要になります。令和4年より新学習指導要領が完全実施されるにあたり、こうしたことを踏まえながら従来準備してすすめてきたことに上乗せして、加速してすすめていきませんか。

## ●令和2年度(2020年度)高教研地歴・公民部会役員一覽

役 職		氏 名	学 校 名	
部 会 長		渋 川 誠 人	札 幌 北 陵 高 校	
副 部 会 長		阿 部 孝 則	市 立 札 幌 藻 岩 高 校	
		田 尻 勝 敏	札 幌 東 高 校	
		林 正 憲	札 幌 北 高 校	
監 事		小 林 孝	石 狩 南 高 校	
		高 橋 昌 宏	有 朋 高 校	
運 営 委 員	世 界 史	榊 原 康 文	市 立 札 幌 大 通 高 校	
		菊 池 真 哉	札 幌 英 藍 高 校	
	日 本 史	岩 間 洋 之	札 幌 啓 成 高 校	
		安 藝 宏 和	札 幌 北 陵 高 校	
	地 理	鈴 木 良 伸	札 幌 月 寒 高 校	
		吉 井 優 紀 彦	札 幌 東 陵 高 校	
	現 代 社 会	吉 川 敦 巳	札 幌 東 高 校	
		横 平 麻 紀 子	札 幌 英 藍 高 校	
	倫 理	渡 邊 昭 博	札 幌 手 稻 高 校	
		倉 部 英 利 子	大 麻 高 校	
	政 治 経 済	下 川 欣 哉	札 幌 国 際 情 報 高 校	
		佐 竹 肇	札 幌 平 岡 高 校	
	事 務 局	局 長	小 原 茂	札 幌 北 陵 高 校
		次 長	安 藝 宏 和	
局 員		山 下 良 二		
		吉 川 伸 彦		
		福 澤 雄 一 郎		
		能 戸 睦 傑		
		村 尾 直 之		
		本 間 靖 章		
渡 辺 郁 岳				

## ●令和2年度地歴・公民科 各種研究会のご案内

～互いに学び、情報交換して、夏に教科指導力を高めましょう！～

研究会名称	北海道高等学校世界史研究会			
会長名	橋本達也（北海道科学大学高等学校長）	事務局長	本間靖章	
事務局	北海道札幌北陵高等学校	札幌市北区屯田7条8丁目1-5	TEL 011-772-3051	
研究会のご案内	期日	令和2年8月22日（土）	会場	オンライン（Zoom）
			参加料	無料
	<p>第51回北海道高等学校世界史研究大会</p> <p>○主 題 「生徒とともに語る世界史へ」</p> <p>○目 的 ・高大接続改革や「歴史総合」「世界史探究」等、歴史教育の転換点を迎えるに際して、「教員」と「生徒」が「歴史をいかに語る」べきかについての知見を深める。 ・北海道のみならず全国の歴史教育関係者と意見を交換することで、これからの時代に求められる歴史教育像を明らかにしていく。</p> <p>○参加費 無料（人数制限あり 事前の申し込み必要） *北海道の教員150名、道外からの参加者150名</p> <p>○日 程 8月22日（土） 13:00～13:15 開会式 13:20～14:50 パネルディスカッション テーマ「『&lt;世界史&gt;をいかに語るか』その後 ～世界パンデミックの現状をどう将来の歴史教科書に記述するのか～」 基調報告：長谷川貴彦氏（北海道大学教授） 「疾病の時代を生きる」 パネリスト：成田 龍一氏（日本女子大学教授） 小川 孝司氏（長野県蘇南高等学校長） 司 会：吉嶺 茂樹氏（北海道有朋高等学校） 15:00～15:20 質疑応答 15:30～16:30 研究協議（座談会・質疑を参考にテーマを設定して協議を行う） 16:30～16:40 総会</p>			

研究会名称	北海道高等学校日本史研究会			
会長名	阿部孝則（市立札幌藻岩高等学校長）	事務局長	幡本将典	
事務局	市立札幌大通高等学校	札幌市中央区北2条西11丁目	TEL 011-251-0229	
研究会のご案内	期日		会場	
			参加料	
	今年度は実施せず。			

研究会名称	北海道高等学校地理教育研究会			
会長名	阿部 穰（北海道利尻高等学校長）	事務局長	佐久間 直 樹	
事務局	市立札幌新川高等学校	札幌市北区新川5条14丁目1-1	TEL 011-761-6111	
研究会のご案内	期日		会場	
			参加料	
	今年度は実施せず。			

研究会名称	北海道高等学校政治経済研究会			
会長名	川瀬 雅之 (札幌市立北翔養護学校長)	事務局長	藤倉 水緑	
事務局	市立札幌清田高等学校	札幌市清田区北野3条4丁目6-1	TEL 011-882-1811	
研究会のご案内	期日	令和2年11月7日(土)	会場	ホテルライフオーツ札幌
			参加料	2,000円
	令和2年度北海道高等学校政治経済研究会第45回研究大会			
	○日程 令和2年11月7日(土) 13:00~16:30			
	○会場 ホテルライフオーツ札幌 ライフオーツホテルⅢ			
	○参加料 2,000円			
	○定員 最大50名(申込多数の場合は先着順)			
	○日程			
	11月7日(土)			
	~13:00 受付			
	13:00~13:15 諸連絡			
	13:15~14:15 講演Ⅰ			
	演題 「未定」			
	講師 畠山 創氏(代々木ゼミナール公民科講師)			
	14:45~15:00 休憩			
	15:00~16:30 講演Ⅱ			
	演題 「未定」			
	講師 宇野 仙氏(駿台予備学院地理科講師)			
	16:30~ 諸連絡			

研究会名称	北海道高等学校倫理・現代社会研究会			
会長名	元紺谷 尊広(北海道有朋高等学校長)	事務局長	江尻 憲昭	
事務局	北海道大麻高等学校	江別市大麻ひかり町2番地	TEL 011-387-1661	
研究会のご案内	期日		会場	
			参加料	
	今年度は実施せず。			

## ●令和2年度高教研地歴・公民部会（教科別集会）について

### 1 今年度の高教研について

全体集会・教科別集会は、オンラインも含め、実施しないこととなりました。詳細については、高教研ホームページでご確認ください。

### 2 地歴・公民部会 研究主題について

#### (1) 令和2年度地歴・公民部会研究主題

「広い視野に立ち、主体的に生きる資質・能力を育む学習指導の工夫・改善」

#### (2) 令和2年度専門部(分科会)研究主題

- ア 世界史：課題を見出し、主体的取組を促す授業・評価の工夫・改善
- イ 日本史：日本史教育の今日的課題と、深い学びへと結びつく学習指導と評価の工夫・改善
- ウ 地理：新教育課程における地理教育の創造と、授業実践を通じた学習指導の工夫・改善
- エ 現代社会：「現代社会」の授業実践の成果と課題を踏まえて、新科目「公共」を展望する
- オ 倫理：他者と共によりよい社会の形成を担う人間を育てる倫理の授業展開
- カ 政治経済：公民としての資質・能力を育成する「政治・経済」学習指導の工夫・改善

### 3 研究紀要について

研究紀要は、今年度（第58号）はHP上での発表となります。印刷発行は、次年度に第58号と第59号の合冊になる見込みです。

ア 教科に関することで、25,000字以内(25文字×1,000行)です。

イ 申込みは、令和2年8月21日（金）までに事務局（札幌北陵高校）へ論文概要を送付してください。

### 4 令和3年度の日程について（予定）

(1) 全体集会 令和4年1月12日（水） 会場未定

(2) 教科別集会 令和4年1月13日（木） 北海道札幌北陵高等学校

住所 札幌市北区屯田7条8丁目1-5 TEL 011-772-3051